

年度 2008 学期 後期	曜日・校時 水 2	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	言語と芸術(詩と音楽の理解～歌曲研究) Language and Art (Poem and Music)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室 教育学部 音楽棟 2 番教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 人文・社会科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスパワー 担当教員:宮下 茂 /Eメールアドレス:miyamo@nagasaki-u.ac.jp/研究室:教育学部 音楽棟 2階 204号室/TEL:819-2345 /オフィスパワー:Eメールでの質問又は研究室前質問受付時間掲示参照			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 本科目は、ドイツと日本の歌曲を取り上げ、詩と音楽、音楽描写等により、音楽、芸術と人間との関わりを知り、詩と音楽、詩人と作曲家への理解を深めることを目的とする。 授業方法: 配布資料を基に授業内容の解説を行い、同時に詩や音楽の視聴を行い、それらの理解を深めるよう展開する。 授業到達目標: 詩と音楽、詩人と作曲家への理解など、授業内容を理解し、授業内容に対する自身の考えを持ち、自身の考えを述べられる。または、授業内容に対する疑問を述べられるようになる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) ドイツと日本の歌曲を取り上げ、配布資料を基に内容の解説を行い、同時に詩や音楽の視聴を行い、それらの理解を深めるよう展開する。 第1回 季節の歌～春 第2回 ドイツ歌曲の歴史 第3回 「歌、歌曲、オペラ、声楽…」～言葉の違いⅠ 第4回 「歌、歌曲、オペラ、声楽…」～言葉の違いⅡ 第5回 シューベルトの詩と音楽/ドイツ語 第6回 詩は言葉の音楽 第7回 詩人と作曲家 第8回 文学的意味と音楽的表現Ⅰ～旋律についてⅠ 第9回 文学的意味と音楽的表現Ⅱ～旋律についてⅡ 第10回 文学的意味と音楽的表現Ⅲ～律動について 第11回 文学的意味と音楽的表現Ⅳ～和声について 第12回 文学的意味と音楽的表現Ⅴ～自然描写について 第13回 詩の形式と音楽の形式～有節形式と通作形式 第14回 「ロマン派歌曲の魅力」～ロマン派歌曲を振り返って 第15回 全授業の総括 ※受講者の授業内容に関わる予備知識等により、授業内容が変更になることがあります。			
キーワード			
教科書・教材・参考書	授業計画に沿い、詩、訳詩等のプリント資料を配布する。音楽の視聴は、CD、DVD、ピアノを活用する。		
成績評価の方法・基準等	○毎回提出の授業レポートを評価する。 (授業内容の理解・疑問、詩と音楽・芸術への理解・疑問、自身の考え等を提出。授業レポートの内容によっては、出席状況に関わらず評価されない場合があります。)		
受講要件(履修条件)	教室の座席定員が36名のため、最大受講者数を36名とします。その為、第1回の授業の先着36名で受講を締め切る場合があります。		
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			